

共同礼拝

2023年4月30日(日) 午前10時30分

午後3時

司式 牧師 姜 匠米

前 奏

招 詞 詩編 19編2～5節

讃 詠 546

主の祈り

聖 書

詩 編 73編21～28節 (旧908)

マタイによる福音書 13章44～52節

(新26)

祈 禱

使徒信条

役員(長老)・教会学校校長任職式

讃 美 歌 9(1, 3)

説 教 「天国の選別」 牧師 高橋和人

祈 禱

讃 美 歌 353(1, 2)

献 金

頌 栄 543

祝 禱

後 奏

起立が困難な時は着席のまま礼拝します。

4月の祈り

主の十字架の死と復活によってもたらされた、罪からの救いに与っている恵みを再確認し、信仰にふさわしく、祈りと忍耐と希望を持って歩むことができるように。

戦火と天災によって困難と悲しみを負っている人々に、主のみ手が伸べられ、癒しと慰めが与えられるように。

教会と幼稚園の新年度の歩みが祝され、力づけられるように。

今日の祈り

教会が主イエスを頭とし、地にある主の体であり、一人ひとりが、主の肢体であることの恵みを覚え、互いに結ばれ、一つとなって主に仕えることができるように。

愛する者を主にゆだね、なお悲しみにある人々に復活の命の希望と慰めが与えられるように。

教会総会が守られたことに感謝し、新たな歩みに導きと希望が与えられるように。

「天国の選別」 高橋和人

マタイによる福音書 13:44～52

神の福音の説教は主イエスに始まる。福音書の記者もまた説教者である。預言者の言葉は成就を待ち、主はたとえで語られた。そこには隠されたものがある。

聞くものは探し、また待つことを求められている。説教は聞くものの内に育つ。育つためにはその言葉の中に主イエスご自身が居られなければならない。聖書はイエス・キリストを証しする。説教が主の証を待たないならば、深い思慮や知識と知恵に満

ちていても無駄話に過ぎない。同時に聞くものは主イエスを探し出さなければならない。

それは、探さなければ、また、その価値を知っていなければ、手に入れることはできない。

主イエスは、畑を借りて耕すものが宝を見つけたときと、真珠商人が価値ある真珠を見つけたときの様子を語る。その発見は全財産を捨てる値打ちがありその喜びは大きい。一生を価値あるものとする。

毎日コツコツと耕し、日々見る目を養っていなければ、その宝にたどり着くことはない。

それは目の前の今の時の知恵ではなく、終わりの時に通じる判断となる。それは、学者として、熟練した知恵を持っていなければならない。福音を探し出す学者だ。

御言葉と生きることは主イエスと共に生きることだ。終わりの時に明らかになるのは、神と共に生きてきたかどうかだ。

救われて、信仰を持つことで、神なしに生きている自分を捨て、神と共に生きている喜びを見出して行くことを積み重ねて行く。

そこに必要なことは振り返りだ。新しいものと古いものを見分けるのだ。福音は常に新しい。主イエスとの出会いはいつも新しいからだ。むしろ人生を重ねることによって、主イエスとの出会いの新鮮さが分かる。主が関わってくださっていることを見るには目が養われていなければならない。自分を見つめ直す目だ。経験が新鮮さを教える。主を離れて生きようとしきた自分を知り、立ち帰り、赦されて新たに招かれる。それは繰り返されても常に新しい。そこに救いの宝がある。